

医薬発 0529 第 1 号
令和 6 年 5 月 29 日

各 $\left(\begin{array}{l} \text{都道府県知事} \\ \text{保健所設置市長} \\ \text{特別区長} \end{array} \right)$ 殿

厚生労働省医薬局長
(公 印 省 略)

毒物及び劇物指定令等の一部改正について（通知）

毒物及び劇物指定令の一部を改正する政令（令和 6 年政令第 196 号。以下「改正政令」という。）及び毒物及び劇物取締法施行規則の一部を改正する省令（令和 6 年厚生労働省令第 91 号。以下「改正省令」という。）が令和 6 年 5 月 29 日に公布されましたので、下記に御留意の上、貴管内市町村、関係団体等に周知徹底を図るとともに、適切な指導を行い、その実施に遺漏のないようお願いいたします。

なお、同旨の通知を一般社団法人日本化学工業協会会長、全国化学工業薬品団体連合会会長、日本製薬団体連合会会長、公益社団法人日本薬剤師会会長、一般社団法人日本化学製品輸出入協会会長及び一般社団法人日本試薬協会会長宛てに発出することとしている旨、申し添えます。

記

第 1 改正政令の内容について

1 次に掲げる物を新たに劇物に指定した。

4-クロロ-2-フルオロ-5-[(R S)-(2, 2, 2-トリフルオロエチル)スルフィニル]フェニル=5-[(トリフルオロメチル)チオ]ペンチル=エーテル（別名フルペンチオフェノックス）及びこれを含有する製剤

2 劇物として指定されていた次に掲げる物を劇物から除外した。

(1) 有機シアン化合物及びこれを含有する製剤のうち、1-(3-クロロ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロピラゾロ[1, 5-a]ピリジン-2-イル)-5-[(シクロプロピルメチル)アミノ]-1H-ピラゾール-4-カルボニトリル（別名シクロピラニル）及びこれを含有する製剤

(2) 「2-イソプロピル-4-メチルピリミジル-6-ジエチルチオホスフェイト

(別名ダイアジノン) を含有する製剤。ただし、2-イソプロピル-4-メチルピリミジル-6-ジエチルチオホスフェイト5% (マイクロカプセル製剤にあつては、25%) 以下を含有するものを除く。」のうち、2-イソプロピル-4-メチルピリミジル-6-ジエチルチオホスフェイト (別名ダイアジノン) を、マイクロカプセル製剤として30%以下含有する製剤

3 施行期日

令和6年6月1日から施行する。ただし、2については、公布日から施行する。

4 経過措置等

- (1) 今回新たに劇物に指定した物については、既に製造、輸入及び販売されている実情に鑑み、改正政令の施行日 (令和6年6月1日) において、現にその製造業、輸入業又は販売業を営んでいる者については、令和6年8月31日までは、毒物及び劇物取締法 (昭和25年法律第303号。以下「法」という。) 第3条 (禁止規定)、第7条 (毒物劇物取扱責任者) 及び第9条 (登録の変更) の規定は適用しない。また、新たに劇物に指定した物のうち、改正政令の施行日において、現に存するものについては、令和6年8月31日までは、法第12条 (毒物又は劇物の表示) 第1項 (法第22条第5項において準用する場合を含む。) 及び第2項の規定は、適用しない。
- (2) 今回新たに劇物に指定した物について、現に製造業、輸入業又は販売業を営んでいる者に対しては、速やかに登録を受け、毒物劇物取扱責任者を設置するとともに、適正な表示を行うよう指導されたい。また、改正政令の施行日において、現に存する物に関しても、法第12条第3項 (毒物又は劇物の表示)、第14条 (毒物又は劇物の譲渡手続)、第15条 (毒物又は劇物の交付の制限等)、第15条の2 (廃棄)、第16条 (運搬等についての技術上の基準等) 等に関する経過措置は定められておらず、これらの規定は施行日から適用するため、関係業者に対して適切に指導されたい。

第2 改正省令について

- 1 次に掲げる物を農業用品目販売業者が取り扱うことができる劇物に指定した。

4-クロロ-2-フルオロ-5-[(R,S)-(2,2,2-トリフルオロエチル)スルフィニル]フェニル=5-[(トリフルオロメチル)チオ]ペンチル=エーテル (別名フルペンチオフェノックス) 及びこれを含有する製剤

- 2 次に掲げる物を農業用品目販売業者が取り扱うことができる劇物から除外した。

「2-イソプロピル-4-メチルピリミジル-6-ジエチルチオホスフェイト (別名ダイアジノン) を含有する製剤。ただし、2-イソプロピル-4-メチルピリミジル-6-ジエチルチオホスフェイト5% (マイクロカプセル製剤にあつては、25%) 以下を含有するものを除く。」のうち、2-イソプロピル-4-メチルピリミジル-6-ジエチルチオホスフェイト (別名ダイアジノン) を、マイクロカプセル製剤とし

て30%以下含有する製剤

3 施行期日

令和6年6月1日から施行する。ただし、2については、公布日から施行する。

第3 その他

- (1) 改正政令及び改正省令の新旧対照表については別添、今般、劇物に指定された物及び劇物から除外された物の性状、毒性等については以下を参考とされたい。

令和5年度第4回薬事・食品衛生審議会薬事分科会資料（資料3 毒物劇物部会について）

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36932.html

- (2) パブリックコメントにおいて寄せられた意見の概要とそれに対する回答の全体は以下のとおりであるので、適宜参考にされたい。

「毒物及び劇物指定令の一部を改正する政令案」に関する意見募集の結果について

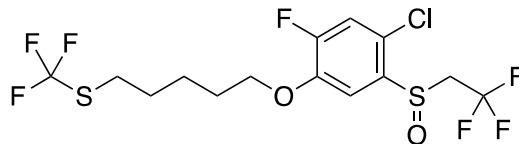
<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCM1040&id=495230349&Mode=1>

「毒物及び劇物取締法施行規則の一部を改正する省令案」に関する意見募集の結果について

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCM1040&id=495230350&Mode=1>

資料 1

4-クロロ-2-フルオロ-5-[(*RS*)-(2,2,2-トリフルオロエチル)スルフィニル]フェニル 5-[(トリフルオロメチル)チオ]ペンチル エーテル (別名フルペンチオフェノックス) 及びこれを含有する製剤の毒物及び劇物取締法に基づく劇物の指定について



$C_{14}H_{14}ClF_7O_2S_2$

CAS No. : 1472050-04-6

名称

(日本語名) 4-クロロ-2-フルオロ-5-[(*RS*)-(2,2,2-トリフルオロエチル)スルフィニル]フェニル 5-[(トリフルオロメチル)チオ]ペンチル エーテル (別名フルペンチオフェノックス)

(英語名) 4-Chloro-2-fluoro-5-[(*RS*)-(2,2,2-trifluoroethyl)sulfinyl]phenyl 5-[(trifluoromethyl)thio]pentyl ether (別名 flupentiofenox)

経緯

上記化学物質は、現在、毒物又は劇物に指定されていないが、農林水産省が行う農薬登録の審査において、その毒性試験結果から、当該物質が毒物及び劇物取締法（昭和25年法律第303号）第2条第2項に規定する劇物に該当する可能性があるとして、農林水産省消費・安全局農産安全管理課長より照会がきているところである。検討に当たって、事業者より当該物質の原体及び8%製剤の毒性データが提出され、その結果から、当該物質及びこれを含有する製剤を劇物に指定するものである。

物理的・化学的性質

別添1を参照

毒性

別添2を参照

事務局案

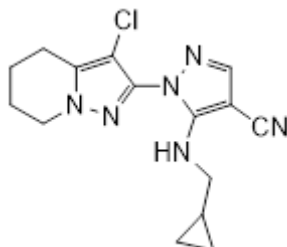
4-クロロ-2-フルオロ-5-[(*RS*)-(2,2,2-トリフルオロエチル)スルフィニル]フェニル 5-[(トリフルオロメチル)チオ]ペンチル エーテル (別名フルペンチオフェノックス) 及びこれを含有する製剤を、「劇物」に指定することが適当である。

【別添 1】

物理的・化学的性質（原体）

| 項目 | |
|---------------|--|
| 名称 | <p>(日本語名) 4-クロロ-2-フルオロ-5-[(RS)-(2,2,2-トリフルオロエチル)スルフィニル]フェニル 5-[(トリフルオロメチル)チオ]ペンチル エーテル (別名フルペンチオフェノックス)</p> <p>(英語名) 4-Chloro-2-fluoro-5-[(RS)-(2,2,2-trifluoroethyl)sulfinyl]phenyl 5-[(trifluoromethyl)thio]pentyl ether (別名 flupentiofenox)</p> |
| CAS 番号 | 1472050-04-6 |
| 化学式 | C ₁₄ H ₁₄ ClF ₇ O ₂ S ₂ |
| 分子量 | 446.83 |
| 物理化学的性状 | |
| 外観 | 白色、結晶固体 |
| 沸点 | 367.9 °C |
| 融点 | 47.7 °C |
| 密度 | 1.593 g/cm ³ (20°C) |
| 蒸気圧 | 1.3 × 10 ⁻⁴ Pa (50°C) 4.5 × 10 ⁻⁵ Pa (40°C) 4.9 × 10 ⁻⁶ Pa (25°C) 2.5 × 10 ⁻⁶ Pa (20°C、外挿法による) |
| 水溶解度 | 水溶解度 = 0.246 mg/L (精製水、20°C) アセトン、トルエン、ジクロロメタン、メタノール酢酸エチルに混和。 オクタノール/水 分配係数 (Log P) = 5.26 |
| 引火性及び発火性 | — |
| 安定性 | 室温で安定 |
| 反応性 | — |
| 換算係数 | — |
| (参考) | |
| 国連(UN)番号 | — |
| 国連危険物輸送分類 | — |
| EC / Index 番号 | — / — |
| EU GHS 分類 | — |

1-(3-クロロ-4,5,6,7-テトラヒドロピラゾロ[1,5-*a*]ピリジン-2-イル)-5-[(シクロプロピルメチル)アミノ]-1*H*-ピラゾール-4-カルボニトリル (別名シクロピラニル) 及びこれを含有する製剤の毒物及び劇物取締法に基づく劇物からの除外について



$C_{15}H_{17}ClN_6$

CAS No. : 1651191-47-7

名称

(日本語名)

1-(3-クロロ-4,5,6,7-テトラヒドロピラゾロ[1,5-*a*]ピリジン-2-イル)-5-[(シクロプロピルメチル)アミノ]-1*H*-ピラゾール-4-カルボニトリル (別名シクロピラニル)

(英語名)

1-(3-Chloro-4,5,6,7-tetrahydropyrazolo[1,5-*a*]pyridin-2-yl)-5-[(cyclopropylmethyl)amino]-1*H*-pyrazole-4-carbonitrile (別名 Cyclopyranil)

経緯

上記化学物質は、現在、毒物及び劇物指定令（昭和40年政令第2号）第2条第32号の有機シアン化合物及びこれを含有する製剤に該当し、劇物に指定されているところであるが、今般、事業者より、当該化学物質の毒性データが提出され、その結果から、当該化学物質及びこれを含有する製剤を劇物から除外するものである。

物理的・化学的性質

別添1を参照

毒性

別添2を参照

事務局案

1-(3-クロロ-4,5,6,7-テトラヒドロピラゾロ[1,5-*a*]ピリジン-2-イル)-5-[(シクロプロピルメチル)アミノ]-1*H*-ピラゾール-4-カルボニトリル (別名シクロピラニル) 及びこれを含有する製剤を、「劇物」から除外することが適当である。

【別添 1】

物理的・化学的性質（原体）

| 項目 | |
|---------------|--|
| 名称 | <p>(日本語名) 1-(3-クロロ-4,5,6,7-テトラヒドロピラゾロ[1,5-<i>a</i>]ピリジン-2-イル)-5-[(シクロプロピルメチル)アミノ]-1<i>H</i>-ピラゾール-4-カルボニトリル (別名シクロピラニル)</p> <p>(英語名) 1-(3-Chloro-4,5,6,7-tetrahydropyrazolo[1,5-<i>a</i>]pyridin-2-yl)-5-[(cyclopropylmethyl)amino]-1<i>H</i>-pyrazole-4-carbonitrile (別名Cyclopyranil)</p> |
| CAS 番号 | 1651191-47-7 |
| 化学式 | C ₁₅ H ₁₇ ClN ₆ |
| 分子量 | 316.79 |
| 物理化学的性状 | |
| 外観 | 白色固体（柱状結晶）160℃ |
| 沸点 | 305.4±0.4℃（減圧条件下） |
| 融点 | 164.8～165.7℃ |
| 密度 | 1.315±0.0121 g/cm ³ (20℃) |
| 蒸気圧 | 7.3 × 10 ⁻¹⁰ Pa (20℃) (外挿値) |
| 水溶解度 | 1.4 mg/L (20℃) |
| 引火性及び発火性 | — |
| 安定性・反応性 | 約 210℃ までは安定（熱安定性） |
| 換算係数 | — |
| (参考) | |
| 国連(UN)番号 | — |
| 国連危険物輸送分類 | — |
| EC / Index 番号 | — / — |
| EU GHS 分類 | — |

【別添2】

毒性（原体）

| 試験の種類 | 供試動物 | 試験結果 | 備考 |
|---------------------------|------|--|------------------------------|
| 急性経口毒性 | ラット | LD ₅₀ : 雌 > 2,000 mg/kg | OECD 423 (2001) GLP 準拠 |
| 急性経皮毒性 | ラット | LD ₅₀ : 雌雄 > 2,000 mg/kg | OECD 402 (1987) GLP 準拠 |
| 急性吸入毒性 (気体の種類 :ダスト) | ラット | LC ₅₀ : 雌雄 > 2.05 mg/L(4hr) | OECD 403 (2009) GLP 準拠 |
| 皮膚刺激性 | ウサギ | 皮膚刺激性なし | OECD 404 (2015) GLP 準拠 |
| 眼刺激性 | ウサギ | 眼刺激性なし | OECD 405 (2017) GLP 準拠 |

【別添2】

(1) 原体

| 試験の種類 | 供試動物等 | 試験結果 | 備考 |
|-----------------|-------|--|---------------------------------------|
| 急性経口毒性 | ラット | <u>50 mg/kg < LD₅₀ ≤ 300 mg/kg</u> | 1) OECD TG423 準拠, 2) OECD TG423 準拠 |
| 急性経皮毒性 | ラット | LD ₅₀ 雌雄 : >2,000 mg/kg | 3) OECD TG402 準拠 |
| 急性吸入毒性 (ダスト) | ラット | LC ₅₀ 雄 : >2.0 mg/L/4hr 雌 : 1.481 mg/L/4hr | 4) OECD TG403 準拠 |
| 皮膚刺激性 | ウサギ | 刺激性なし (GHS : 区分に該当しない) | 5) OECD TG404 準拠 |
| 眼刺激性 | ウサギ | 刺激性なし (GHS : 区分に該当しない) | 6) OECD TG405 準拠 |

(2) 8%製剤

| 試験の種類 | 供試動物等 | 試験結果 | 備考 |
|--------|-------|--|-------------------|
| 急性経口毒性 | ラット | <u>50 mg/kg < LD₅₀ ≤ 300 mg/kg</u> | 7) OECD TG423 準拠 |
| 急性経皮毒性 | ラット | LD ₅₀ : >2,000 mg/kg | 8) OECD TG402 準拠 |
| 急性吸入毒性 | — | — | — |
| 皮膚刺激性 | ウサギ | 軽度刺激性 (GHS : 区分に該当しない) | 9) OECD TG404 準拠 |
| 眼刺激性 | ウサギ | 軽度刺激性 (GHS : 区分に該当しない) | 10) OECD TG405 準拠 |